

日本語教育を通して地域に根ざした国際交流を…NPO 法人和歌山県日本語教育の会

多文化共生の地域社会の実現に寄与するため2021年に設立された「NPO 法人和歌山県日本語教育の会」。日本語教育を通じた地域と外国人との交流を進める理事長の吉村純三さんの熱い思いをお聞きしました。

日本語教育への契機

吉村さんは教師、教育委員会職員、校長を歴任され、退職後、日本語教育の活動を始めました。教師の頃から、外国人との交流に関心があつたという、教育委員会在職時には、中学生海外派遣事業「TAKA OFF21」に引率者として参加した経験もあります。

また、県内のある教育委員会からブラジルから来た生徒に関する相談を受けたことがありました。この時、国際交流について問題意識が芽生えたといいます。技能実習生として日本に来ていた方や親と一緒にいる子どもたちのためになることがないか考え始め、和歌山市内の日本語の専門学校で日本語教師

の資格を得ました。

コロナ禍での教室の立ち上げ

日本語教室の立ち上げが新型コロナウイルスの時期に重なってしまいましたが、これがちょうどいい準備期間になったといえます。少人数から教えることになって、マンツーマンのように教えることができ、事業としての充電期間にもなりました。

少人数ならではのメリットは、雑談しながらコミュニケーションがとれること。母国と日本での生活や習慣などの雑談をすることで、日本語の理解力も分かります。「自由に話し合うことができるため、雑談を大切にしています」と、取材時も吉村さんは、生徒さ



ボランティア（左から2人目）の方と教室を開く吉村さん（左から1人目）

んたちに積極的に話しかけていました。

教室に集まる外国人技能実習生

現在、海南教室で4名、有田教室で12名を受け入れており、多くは技能実習生、永住希望の方。年齢層は20代半ばから40代が多くなっています。

技能実習生の方にとっては、仕事だけでなく公共の場で地域の方々と触れ合うきっかけにもなっています。教室を手伝ってくれるボランティアはすべて

地域の方々。ボランティアの方との会話、日本語に関する質問などを含め、まさに吉村さんが目指す「地域に根ざした国際交流」につながっています。

外国人と母国の家族に寄り添う気持ち

吉村さんは、「外国からわざわざ和歌山に来てくれた方に、和歌山に来てよかったと思わせてほしい。日本語を学ぶことができることは、ご本人の自信にもつながっていきます。日本への親近感を



生徒に寄り添いながら丁寧に指導します

持つてもらえるように」と願っています。母国から送りだしてくれた家族が心配しているという気持ちに寄り添い、経済的な負担なく日本語を勉強してもらえる場を作っている吉村さん。

「学べるということは素晴らしいことです。だから、学べる環境をNPO法人が提供していることを分かってもらい、信用と信頼による安心感をこの会の運営につなげていきたい」と話します。これはまさに教室にいられた外国人に寄り添う気持ちです。単なる労働者ではなく、言葉や文字を学ぶ機会を保障することの大切さを訴えます。

これからの夢・希望

今後は、日本語教室を県下で展開していきたいと考えています。外国人技能実習生を受け入れている事業所が増え、声かけや口コミで日本語教室に来られる方の増加が見込まれます。

教育委員会、教師のなかにも日本語教育に関心を持っている人もいます。次の世代にバトンタッチができる人も育てたいと考えていて、「先を見ながら若い人たちにバトンタッチできるようにしたい」と熱く語ってくれました。

（森下和紀）



和歌山県日本語教育の会では、ボランティアやインターンを募集しています。日本語教育に関心のある方、和歌山県日本語教育の会が「地域に根ざした国際交流」に関心のある方はぜひ吉村さんにお声がけください。
NPO 法人和歌山県日本語教育の会
メール waka.nihongo.2021@gmail.com
ブログ <https://ameblo.jp/yoshi0501-2021/>

ハートポケット倶楽部 × わかやまNPOセンター

第15回和歌山地域貢献活動応援基金 わかやまいきいきファンド 助成団体募集！

全国の花王グループの社員有志のみなさんが毎月1口50円を任意の口数積み立てて、NPO・ボランティア団体を支援する「花王ハートポケット倶楽部」。「わかやまいきいきファンド」は、同倶楽部が、和歌山県内でがんばるNPO・ボランティア団体を対象とした活動助成をおこなうプログラムです。これまでにのべ100を超える団体が助成を受けています。このたび、第15回の助成プログラムの助成団体を募集いたします。

活動歴
2年以内の
団体対象

スタートアップ支援事業

5万円を4～6団体に助成します。

※助成総額は60万円です。審査の結果、各部門の助成団体数を決定します。

活動歴
2年以上の
団体対象

パワーアップ支援事業

10万円を3～4団体に助成します。

応募方法

わかやま NPO センターの特設ウェブサイトから募集要項と応募用紙をダウンロード (<http://www.wnc.jp/ka/>) し、応募用紙に必要事項を記入いただき、ご応募ください。

対象となる事業の実施期間は2023年4月から2024年3月まで。
活動の様子は団体のブログまたはFacebookページでご紹介ください。2024年5月に事業報告を提出いただけます。

応募期間

2022年9月16日（金）～2022年11月17日（木）消印有効

応募は郵送・FAX・電子メールのいずれかで受け付けます。

〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12 わかやま NPO センター
FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp

関連事業

ミニ助成金講座開催！（参加無料）

10月5日（水）13:30～15:00、和歌山ビッグ愛9階会議室CとZOOMオンラインによるハイブリッド開催。

参加ご希望の方は右のQRコードからお申し込みください（参加は応募に必須ではありません）。



申請相談

申請に関する各種ご相談は和歌山県 NPO サポートセンター（和歌山ビッグ愛9階）で承ります。

TEL 073-435-5424 E-mail info@wakayama-npo.jp

主催 花王ハートポケット倶楽部・花王株式会社
企画運営 認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター

TEL 073-424-2223（火曜から金曜10時～17時、不在時は和歌山県 NPO サポートセンターに転送）
E-mail info@wnc.jp